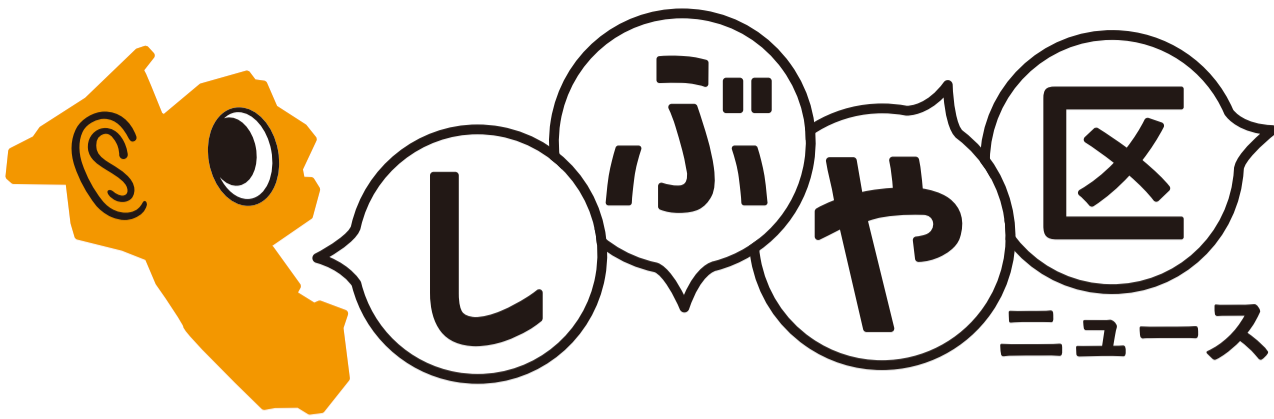


顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。



平成30年
(2018年) 3月15日

No.1381

発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
住所 | 〒150-8010 渋谷1-18-21
電話 | 03-3463-1211 (代表)
公式HP | www.city.shibuya.tokyo.jp/
公式Twitter | @city_shibuya



渋谷区教育委員会の皆さん

学びの中で、健やかに、たくましく、豊かに。
世界へはばたく子どもを育てる、渋谷区の教育。

別冊 渋谷おとなりサンデー特集号

2	渋谷区の将来を担う子どもたちに、	4	3月15日は住宅宿泊事業の届出	6	桜まつり×コスモプラネタリウム渋谷	8	くらしの情報
3	今、伝えていくこと。	5	受付開始日です ほか	7	ほか	11	

★渋谷区役所は庁舎建替えのため、仮庁舎へ移転しています 移転先▶ 渋谷 1-18-21

渋谷区の将来を担う子どもたちに、今、伝えていくこと。

渋谷のラジオで出張インタビュー 教育環境の向上のため日々活動する教育委員会の委員の皆さんに、活動内容や思いなどについて伺いました。



教育長
もりとみこ
森 富子さん

子どもたちは、一人で生き抜く力を身に付けてほしいです。

——皆さんはどのような立場から、区の教育に関わっていますか？

森：私は生まれも育ちも渋谷区です。小学校の教諭を勤めた後、区内の校長・教頭となり、長年、教育現場に携わってきました。現在はその経験を生かし、平成25年から教育長として努力しています。

山本：職業は税理士です。以前、町会や防犯協会などの地域に関わる仕事をしており、その関係から平成27年に教育委員になりました。

坂本：私は1986年から26年間、渋谷区立幡代小学校の学校歯科医をしており、現在は代々木至誠こども園の歯科医をしています。そうした経験から平成27年に教育委員になりました。

大日方：私はもともとパラリンピック競技の選手で、これまで5回、冬季パラリンピック大会のアルペンスキー競技に出場しました。その経験から昨年、教育委員になりました。

平岩：小学生の放課後を豊かにするための「放課後NPOアフタースクール」という法人の代表を務めており、昨年に教育委員の任命を受けました。自分自身も小中学生の子ども二人の父親ということで、保護者の目線も持ちながら取り組んでいます。

松本：区内で、保護者に対する子育て支援の、総合的な提供を行う施設「認定こども園」を運営している経験などから、昨年、教育委員になりました。



教育長職務代理者
やまもとたかし
山本 義士さん

この街で、活発な子どもに成長してくれたらうれしいですね。

——教育委員会の主な活動を教えてください。

森：教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、学校とその他の教育機関の設置・管理、学校教育、社会教育、スポーツ及び文化財等教育に関する事務を管理執行する、区長部局とは独立した行政委員会です。区内のさまざまな教育現場に足を運び、区民の皆さんや子どもたちへの指導が円滑に進むよう取り組みを進めています。

——子どもたちの健やかな成長と学びのために、委員の皆さんが大切にしていることを教えてください。

平岩：子どもたちの夢や志を膨らませてあげたいという思いを常に持つことです。夢や志を持つには「自己肯定感」が大切です。また、日々、子どもたちと向き合い頑張っている学校現場や先生たちを応援していきたいと思っています。

大日方：そうですね。一人一人の違いが輝くように、それぞれの子どもが個性を生かせる教育環境をつくっていききたいです。そして何より、自分から行動を起こせるような大人になってほしいと期待を込めています。

坂本：子どもたちは可能性の塊です。今は苦手なことでも、いつか必ずプラスに変えられます。その才能を発揮するタイミングはそれぞれ違うので、全ての子どもたちを信じて見守り続けることを大切にしています。

森：子どもたちは多くの大人に守られています。ですが、いつかは一人で生きていかなければいけません。そのためにも、一人の人間として、自覚をしっかりと持ち、生き抜く力を身に付けてほしいです。



さかもとまりこ
坂本 真理子さん

全ての子どもたちを、信じて見守り続けることを大切にしています。

——渋谷区らしい教育政策として、どのような取り組みに力を入れていますか？

森：渋谷区の学校教育では、人権教育を大切にしています。それは、区の基本構想「ちがいを ちがいに 変える街。渋谷区」と同じく、多様性に対する理解を深めるためです。人を思いやり、理解を深めていく教をこれからも続けていこうと思います。また、小中学生を対象とする海外派遣研修も実施しています。フィンランドやシリコンバレーなど、教育に力を入れている国や地域に赴き、海外の文化や人と関わることで、より視野と夢が広がると考えています。実際、研修に行った子どもたちは、そこで学んだ経験を生かして、それぞれの学校でより一層活躍し、中学校卒業後に留学するなど、世界への関心を伸ばしながら成長しているのが、この取り組みが子どもたちにとって良い影響を与えていると実感しています。

——渋谷区では、全区立小中学校で児童・生徒全員に一人一台タブレットを配布するなど、ICT教育にも力を入れていますね。

森：子どもたちは好奇心が旺盛で、タブレットを渡した途端にすぐ操作していました。わからないことでもいろいろと試す精神は、子どもの素晴らしいところですね。また、タブレットには協働学習用のソフトが入っており、タブレットの画面一つで、一度に全員分の意見をまとめて見

られるようになりました。一方、子どもたちも、意見を発信する場が増えたことで積極的に授業へ参加するようになり、学習意欲が高まっていることを教育現場を見ていて実感しますし、一つの大きな変化だと思えます。

平岩：そうですね。教育にデジタルの技術が加わることで授業のスピードが上がり、同じ時間でも伝えられることが多くなりました。また、意見交換がしやすくなることで、先生と生徒のコミュニケーションを増やす、良い機会にもなっていると思います。

坂本：ある学校の先生から、タブレットを使い始めてから歴史の授業がとても進めやすくなったと聞きました。文章の要素にデジタル技術が加わったことで、歴史に登場する人物や場所を動画や写真などで実際に見ることができると、授業内容がバラエティー豊かになり、子どもたちも楽しく学んでいるようです。

大日方：現代の子どもたちは、生まれた時からインターネットやパソコンのある生活環境の中で育ってきた世代、いわゆるデジタルネイティブです。子どもたちには、ただタブレットを受動的に使うのではなく、積極的に使いこなしてもらい、考える力を身に付けてほしいですね。たくさんある選択肢の中から、自分で答えを見出す力の必要性は、いつの時代も変わらないと思います。



おひわきにこ
大日方 邦子さん

それぞれの子どもが個性を生かせる教育環境をつくっていききたいです。

大日方さんは平昌2018パラリンピック冬季競技大会日本代表選手団団長を務めています。

——2年後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会があります。この機会に、子どもたちにはどのように向き合ってもらいたいですか？

平岩：世界中の人々が日本に集まるということは、多様性を学ぶ格好の場ですので積極的に関わってほしいです。同時に、日本人としてのアイデンティティも身に付けて、日本の魅力を世界に発信してくれるとうれしいですね。

大日方：自分自身、アスリートとしての経験を振り返っても、自国でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるということは、とても貴重な機会だとつくづく思います。子どもたちには、準備の段階から楽しんで、大会への関わり方を考えてほしいですね。一つのことをいろいろな方向性を考えながらみんなで取り組むことで、協調性を高めるきっかけにもなるはずですよ。

松本：渋谷区には大会の会場があるので、より選手たちの存在を身近に感じやすい恵まれた環境にあると思います。さまざまな国の選手が活躍する姿を見ることで、目標に向かって一生懸命に努力をするということの素晴らしさを、子どもたちにぜひ知ってもらいたいです。



ひらいわくにやす
平岩 国泰さん

子ども・保護者・学校の応援団として、これからも全力で頑張っていきたいと思っています。

——これからの時代を担っていく子どもたちに、渋谷区でどのように成長してほしいと考えていますか？

山本：ICT教育を受けた子どもたちには、将来、その経験を生かしてベンチャービジネスを起こすなど、自分たちが生まれ育った渋谷区を元気のある街にしたいです。また、小中学生の子どもたちは特に育ち盛りの時期なので、勉強も大切ですが、たくさん食べて、元気に健康に成長してほしいですね。

坂本：AI(人工知能)などテクノロジーの技術が発達する中で、人間にしかないものは何だろうと考えた時、それは愛のある心だと思うんです。豊かに自分を表現できるのは人間にしかできないことだと思うので、機械に成し得ないことを大事にする人間に育ってほしいと願っています。

松本：幸せの感受性を大切にしながら生きる人に育ってほしいと思います。教育委員として、より良い教育現場を追求し、地域振興も含め、渋谷区の街を盛り上げていきたいですね。

大日方：未来ある子どもたちには、日々自分らしい生き方を探してほしいですね。やりたいことを行動に移し、挑戦を積み重ねていく。そうしたことで、夢や理想の実現に向かって生きる力が育まれていくのではないのでしょうか。

平岩：グローバル化が進む今、多様性への理解を深めるためにもいろいろなことにチャレンジしてもらいたいですね。また、日本のICT教育は、昨年の9月にスタートを切った渋谷区にかかっていると思うので、この街で成功事例をつくり、日本の教育を豊かにしていきたいです。

森：子どもたちには力強く生きてほしいですし、自分の可能性を信じて、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。そして渋谷区という街を、生まれ故郷、もしくは住んでいた地域として、親しみを寄せる人になってくれたらとてもうれしいです。



まつもとりずき
松本 理寿輝さん

幸せの感受性を豊かに、大切にしましょう。

渋谷区教育委員会の皆さんのインタビューは、3月20・27日に「渋谷隣人祭り」で放送します。

※紙面に掲載している情報は、30年3月15日現在のものです。

問 広報コミュニケーション課 広報聴係 ☎3463-1287 📠5458-4920

渋谷区の番組を放送中です

<p>ラジオ しぶや区ニュース 月～木 11:00 / 16:00 / 21:50 (10分間) 「しぶや区ニュース」の情報を発信します</p>	<p>渋谷隣人祭り ※4月からは渋谷の星火 11:10 (45分間) 渋谷区で活躍する人たちが登場します</p>	<p>ラジオ しぶや区ニュース (区長の部屋ほか) 金 11:00 / 17:00 / 19:50 (10分間) 長谷部健 渋谷区長が出演します (ラジオしぶや区ニュースの内容になる場合あり)</p>	<p>渋谷のくらし 金 17:20 (30分間) ※4月からは火16:20 地域の催しなどの様子を伝えます</p>
--	--	--	---

「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人とのつながりが広がる紙面をお届けしています。

周波数: 87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能

住所 | 渋谷区3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876
FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | https://shiburadi.com/